

瑞光第二幼稚園 令和6年度自己評価結果公表

1. 本園の教育目標

「生き生きのびのび元気な子」

- 1 友達と仲良く元気に遊ぶ
- 2 我慢強く、最後までやりとげる
- 3 相手のお話をよく聞き、よく考える
- 4 自からよく考え、自分から進んで行動する
- 5 想像力を養い、心優しく育つ

2. 7年度重点的に取り組む目標

1. 教員同士が連携し、子どもの安全確認を徹底する。
2. 園児一人一人の行動と個性や特性を理解し保育を行う。
3. 自分で考え、自主的に行動できるように言葉掛けをし、自主性と自立心を養う。
4. 園内の安全対策のマニュアルを作成し、教職員全員で見守っていく。
5. 園児の体力作りのために 体操のカリキュラムを充実させる。

3. 6年度重点に取り組んだ結果

評価項目	1、教員一人一人が園児の安全確認を徹底し、怪我や事故のないように気を付けた。 2、年長児は、ほぼ自主的に行動できるようになってきている。 年少・年中児も 少しづつ自主的に行動できるようになってきた。 3、年長、年中、年少児もみんな体力がついて来ている。	評価	A
理由	教員全員の心がけにより、安全確保にそれぞれが気をつけて怪我のないように気をつけていた。 園児1人1人への言葉掛けについては、保育後や園全体のミーティングで、実践の成果を上げている。		

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない D:取り組みが不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価	理由
A	取組むべき課題について全教員が取組状況を理解し、達成度を高められた。

A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない D:取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	1、教員全員が園児一人一人の行動と安全に気を付けると共に教員同士の話し合いで全体を共有する。 2、教員個々が細かいことに気づけるよう心がけ、それを保育に活かし、園児1人1人を大切に保育する。 3、全園児の体力及び運動能力は高まっていますが、より活発で元気な園生活を送れるようにする。 4、園の安全対策マニュアルを周知していく。
取組状況	来年度も教員全員で取り組むべき課題が実行できるように、常に話し合いをし確認しあう。

6. 学校関係者の評価

特に指摘すべき事項はなく、妥当であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

学校法人 山野学園

